

Japan Services (Japanese Version with Key English Language Reports)

クラウドファーストの加速とデジタルビジネス（DB）化の取り組みの本格化、加えて生成系 AI をはじめとする AI 技術の進化は、IT サービスベンダー各社にビジネスモデルの変革を迫っています。特に、SI や IT アウトソーシングを供するだけではなく、ビジネスコンサルティングや BPO サービスをうまく組み合わせることも重要な手段となります。IDC Japan 年間情報提供サービス「Japan Services (Japanese Version with Key English Language Reports)」は、IT サービスとビジネスサービスを包括的に分析することで企業の DB 化の取り組みがもたらす市場の変化に対応するサービスベンダーの戦略立案を支援します。2025 年は、AI 技術の進展がもたらすサービスデリバリーの変化、および新興サービスベンダーのビジネス戦略とその動向にスポットを当てた調査レポートを発行します。

MARKETS AND SUBJECTS ANALYZED

- プロジェクトベースサービス
- マネージドサービス
- ビジネスコンサルティングサービス
- BPO（Business Process Outsourcing）サービス
- データセンターサービス
- クラウド向け IT サービス市場

CORE RESEARCH

- 国内 IT サービス市場 産業分野別 予測
- 国内ビジネスプロセスアウトソーシングサービス市場予測
- 国内 CIO 調査
- 国内 IT サービス市場 サービスセグメント別／産業分野別ベンダー競合分析
- 国内ビジネスサービス市場予測
- 国内データセンターサービス市場 予測
- 国内クラウド向け IT サービス市場予測
- IDC FutureScope: Worldwide Services 2025 Predictions - Japan Implications

上記リサーチは市場環境などの変化に応じて変更される可能性があります。発行レポートをご覧になりたい場合は以下 Web サイトをご参照ください。: [Japan Services \(Japanese Version with Key English Language Reports\)](#).

KEY QUESTIONS ANSWERED

- 国内 IT サービス市場のダイナミクスは各カテゴリーでどのように異なるのか？
- 国内ビジネスサービス市場はどのように発展していくのか？
- 国内サービス市場におけるリーディングベンダーはどこか？
- DB 時代におけるリーディングベンダーのサービス戦略は何か？
- DB 化関連の IT サービス／ビジネスサービス支出は、今後どのように成長して行くのか？
- 企業の IT サービス購入行動はどのように変化していくのか。

COMPANIES ANALYZED

IDC では、次のベンダーの企業戦略、競合状況などの比較／分析を行います（アルファベット順、50 音順）。

IBM、NEC、NTT データ、SCSK、TIS、アクセンチュア、伊藤忠テクノソリューションズ（CTC）、キンドリル、東芝、BIPROGY、野村総合研究所（NRI）、日立製作所、富士通、その他